

記録：第 341 回海外邦人安全対策連絡協議会

12 月 14 日、「第 341 回海外邦人安全対策連絡協議会」を開催したところ、概要につき以下のとおり。主な議題は、新規感染・ワクチン接種状況、出勤率状況、家族帯同状況、年末年始の移動など。

1. 冒頭

（大使館総括公使）

最近新型コロナウイルス感染状況は落ち着いていたが、オミクロン株の登場でにわかに不透明になってきた。コロナをめぐる年末年始の規制も出そろってきてはいるがこれが最終形とは限らない。大使館としても引き続き最新情報を入手して皆様にお伝えするようにしたい。

2. 治安ならびに邦人に関わる最近の事件・事故報告

（大使館警備班書記官）

新型コロナにかかわる規制が徐々に緩和され主要道路の渋滞など以前の生活が戻ってきているが、それに伴い邦人が被害者となる事件が認知されている。ご注意願いたい。まずは 11 月からデモが多くなっている点。ジャカルタ市内、工業団地などで労働条件向上に関するデモが頻発しているので近づかないように注意いただきたい。続いてはテロ。年末年始を迎えてテロリスクが高まる時期である。人が集まるような場所には特に注意が必要。最後に、自家用車両に乗車中のひったくり事件の発生について報告する。後部座席で携帯電話を操作していたところ、開いていた窓から携帯電話をひったくられたという事案である。走行中隣を通り抜けたオートバイに奪われてしまった。その後、携帯電話を使って犯人が送金を試みた形跡があったという。車両に乗っていてもひったくりに注意するとともに、携帯電話の中にパスワードを記録しないように注意願いたい。携帯に限らず財布の中にも必要以上のカードやデータを保管しないよう注意をお願いする。

3. 新型コロナウイルスをめぐる状況

（大使館医務官）

公表ベースではインドネシアのコロナ状況はかなり落ち着いていると言える。最近話題になっているオミクロン株について現在わかっている範囲で説明したい。まず、インドネシアにオミクロン株がすでに入ってきているかどうかについて調べることは難しい。すでに入ってきているがまだ検出されていないと考えて対応をするべきと考える。またオミクロン株は感染時に軽症で済むのかも全くわからない。一部の国では死亡例が出ており安心できない。以前接種したワクチンについて、効果が徐々に弱く

なる可能性が指摘されているため、今後 3 回目の接種の必要性が重要視されてくるとみられる。ただしインドネシアにおいてはまず 1 回目、2 回目の接種完了が優先目標となることから 3 回目接種へ迅速に進展することは難しいかもしれない。

4. 各社・機関からの状況報告

(企業からの報告)

ここ 2 カ月間新規感染はなく状況は安定している。ただオミクロン株に備えて警戒レベルを維持し感染防止に取り組んでいる。不要不急の出張は避けるように努めている。

(企業からの報告)

現在 105 名の駐在員、32 名の帯同家族がいる。新規感染者はゼロ、出社率は 50% をキープして事業を運営中。

(企業からの報告)

新規感染者はなし。出社人数 50% を上限として業務遂行中。スタッフの出張は拠点長判断。駐在員の年末日本帰国予定は 1 名のみ。

(企業からの報告)

ここ数カ月新規感染者はなし。日本に待避していた社員・家族についても全員帰還済み。出社率は 50%。出張は国内限定で店長が許可する方式。年末年始は不要不急の外出はしないよう指示。ただし禁止まではしていない。

(企業からの報告)

ワクチン接種は日本人は全員完了、ナショナルスタッフは 98% 完了。感染予防対策徹底を継続している。

(企業からの報告)

新規感染者はゼロ。ワクチンは 45 名のスタッフ全員が接種を完了済。

(企業からの報告)

新規感染者はゼロ。他に特段の報告事項はなし。

(企業からの報告)

新規感染者はいない。基本的に全員がワクチン接種を完了している。駐在員については年末年始ジャカルタ地区に滞在予定。旅行を予定している者はいない。東部工業団地についても新規感染者報告は受けていない。今月初めからデモが発生しており年末にかけて続く見通し。12 月、1 月は洪水対策に留意必要。また年末年始の交通規制にも注意願いたい。

(企業からの報告)

新規感染者はいない。ワクチン接種もほぼ終了。家族も戻ってきている。年末年始は移動を避けるよう指示を出している。なお、年末年始はテロ等に加えて盗難等の一

般犯罪に注意いただきたい。住居、オフィスにおけるカギや貴重品、車両等身の回りの管理を今一度再確認いただきたい。

（企業からの報告）

新規感染なし。ワクチンは日本人、ナショナルスタッフとも完了。出社率は 40%。国内出張は責任者の承認を条件として実施している。

（企業からの報告）

駐在員はワクチン接種を完了。新規感染者もいない。

（企業からの報告）

新規感染者はなし。ワクチン接種もほぼ全員が完了。最近 1 か月間で帯同家族が 3 家族到着した。

（企業からの報告）

出社率は現場が通常通り（100%）、事務所は 50%で運営。国内出張については現地拠点長の決済、国外出張は本社の危機管理委員会が判断するルールで運用。

（企業からの報告）

この 1 か月間コロナの新規感染者はなし。他に特段の報告事項なし。

（企業からの報告）

新規感染者はいない。例年 12 月、1 月は社内異動時期となる。赴任・帰任に際しては所定の入出国管理ルールに従い対応する。

（企業からの報告）

特段報告すべき事項はない状況。会社の運営はかなり通常状態に戻っている。

（企業からの報告）

新規感染者はゼロ、ワクチン接種はほぼ全員が完了。駐在員は全員インドネシアに帰任済。年末年始に 3 名が日本に一時帰国予定。帯同家族は、12 月に 5 家族、1 月に 2 家族がジャカルタに戻ってくる予定となっている。

（企業からの報告）

新規感染者はゼロ、ワクチン接種はほぼ完了。出社率 50%で運用。年末年始の日本への一時帰国予定者はいない。

（企業からの報告）

新規感染者はなし。ワクチン接種はすべてが完了。帯同家族も予定した帰還はすべて完了。

（企業からの報告）

新規感染者はほとんど発生せず落ち着いている。入国規制厳格化により出張者は減少する見込み。

（企業からの報告）

8 月以降新規感染者ゼロが続いている。希望する家族の帰還も完了。国内出張は必

要最低限にとどめる運用。

（企業からの報告）

9月以降新規感染者はなし。先月新規赴任者が入国した。ブースター接種に関し情報収集している。

（団体からの報告）

ここ数か月間新規感染者はなし。

（JICA）

前回の報告から新規感染者はなし。ワクチン接種ほぼ完了。事務所の出勤率は50%を上限で運営、国内出張は所長決済。

（JETRO）

新規感染者は無し。ワクチン接種完了。出勤率は50%上限。国内出張は所長決済で実施。

（国際交流基金）

ここ数か月間新規感染はなし。ワクチン接種もほぼ完了。出勤率は50%で運用。出張は必要性を判断しつつ個別に承認している。

（チカラン日本人学校）

新規感染者はなし。ワクチン接種は完了。現在44名の生徒を対象に対面教育を継続している。12月23日に二学期修了の予定。最近帯同家族の入国が進んでおり1月に15名強の入学予定あり。来年4月には56-57名の入学希望者が予定されている。

5. 質疑応答

（企業からの質問）

本年8月から実施されている成田空港・羽田空港でのワクチン接種について、今後ブースター接種が行われる見通しはあるか？

（大使館領事部長）

空港接種については当初の予定通り2022年1月で完了する予定である。現在1月10日が最終日となっている。3回目接種については、今後のワクチン接種施策において課題になると認識しており、在留邦人の皆様にとっても関心の高い点と推察する。本省へ確認し提供できる情報があれば報告する。

（団体からの質問）

インドネシアにおいて6～11歳児童への中国製ワクチン接種が本日から開始されたと聞いている。中国製ワクチンとなると日本への入国時に支障が出てくる可能性も考えられる。本ワクチン接種への対応方法につき情報やアドバイスあれば伺いたい。

（大使館医務官）

児童に対する中国製ワクチン接種の有効性については、医学的な見地から判断できるような情報がないのが現状。個人的な見解として申し上げるが、児童へのワクチン接種が医学的には効果が不明であること、一般的に児童は重症化しないと考えられていることから、ワクチン接種をしなくても生活面で大きな支障がないのであれば、もう少し様子を見てもよいのではないかと考える。

(チカラン日本人学校)

低学年児童へのワクチン接種については期待をしているが現在のところ具体的な動きはない。

次回海安協は 2022 年 1 月 11 日（火）に開催予定。